2027年２月期

第2四半期（中間期） 決算説明資料

株式会社ハブ　2026年10月23日

目次

1 2027年２月期中間期の業績について

2 2027年２月期の取り組みについて

3 2027年２月期の見通しについて

1 2027年２月期中間期の業績について

業績予想と実績値との差異（中間期）

（単位：百万円）

	2027年２月期 中間期 業績予想 （売上高比）	2027年２月期 中間期実績 （売上高比）	増減額 （売上高比差）	通期予想 進捗率
売上高	6,100	6,368	268	53.1％
営業利益	400 （6.6％）	513 （8.1％）	113 （1.5P）	85.5％
経常利益	390 （6.4％）	510 （8.0％）	120 （1.6P）	87.9％
中間純利益	220 （3.6％）	309 （4.9％）	89 （1.3P）	93.6％

業績サマリ P/L （前年同期比較）

（単位：百万円）

	2026年2月期 中間期実績 （売上高比）	2027年2月期 中間期実績 （売上高比）	前年差 （売上高比差）	前年比
売上高	5,689	6,368	679	111.9%
売上原価	1,696	1,854	158	109.3%
原価率	29.8%	29.1%	▲0.7P	—
販売費及び一般管理費	3,730	4,060	330	108.8%
営業利益	309 (5.4%)	513 (8.1%)	204 (2.7P)	165.8%
経常利益	302 (5.3%)	510 (8.0%)	208 (2.7P)	168.5%
特別利益	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—
法人税等合計	9	200	191	—
中間純利益	293 (5.2%)	309 (4.9%)	16 (▲0.3P)	105.6%

業績サマリ B/S（前年度末比較）

（単位：百万円）

	2026年2月期末	2027年2月期中間期末	前期末差	主な要因
資産合計	6,653	7,156	503	
流動資産	3,358	3,802	444	現金及び預金の増加
固定資産	3,295	3,354	59	
負債合計	3,245	3,564	318	
流動負債	1,749	2,000	250	長期借入金及び買掛金の増加
固定負債	1,495	1,563	68	
純資産合計	3,407	3,592	185	配当金支払いによる減少 中間純利益計上による増加
自己資本比率	50.7%	49.5%	▲1.2P	
有利子負債残高	1,298	1,397	99	

業績サマリ C/S （前年度比較）

（単位：百万円）

	2026年2月期 中間期	2027年2月期 中間期	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	356	583	・税引前中間純利益の計上
投資活動によるキャッシュフロー	▲186	▲266	・有形固定資産の取得（新規出店等）
財務活動によるキャッシュフロー	▲357	▲58	・長期借入れによる収入と長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,455	2,893	

月次推移

中間期までの客数は全店で前年同期比107.8%、既存店104.5%となり、前年実績を上回る堅調な推移

【全店実績の対前年比較】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期
売上高（%）	110.2	105.4	111.7	123.5	117.8	104.1	111.9
客数（%）	106.4	103.0	106.0	121.5	112.3	98.5	107.8
客単価（%）	103.6	102.3	105.3	101.7	104.9	105.6	103.9
店舗数	111	110	110	110	111	112	

【既存店実績の対前年比較】

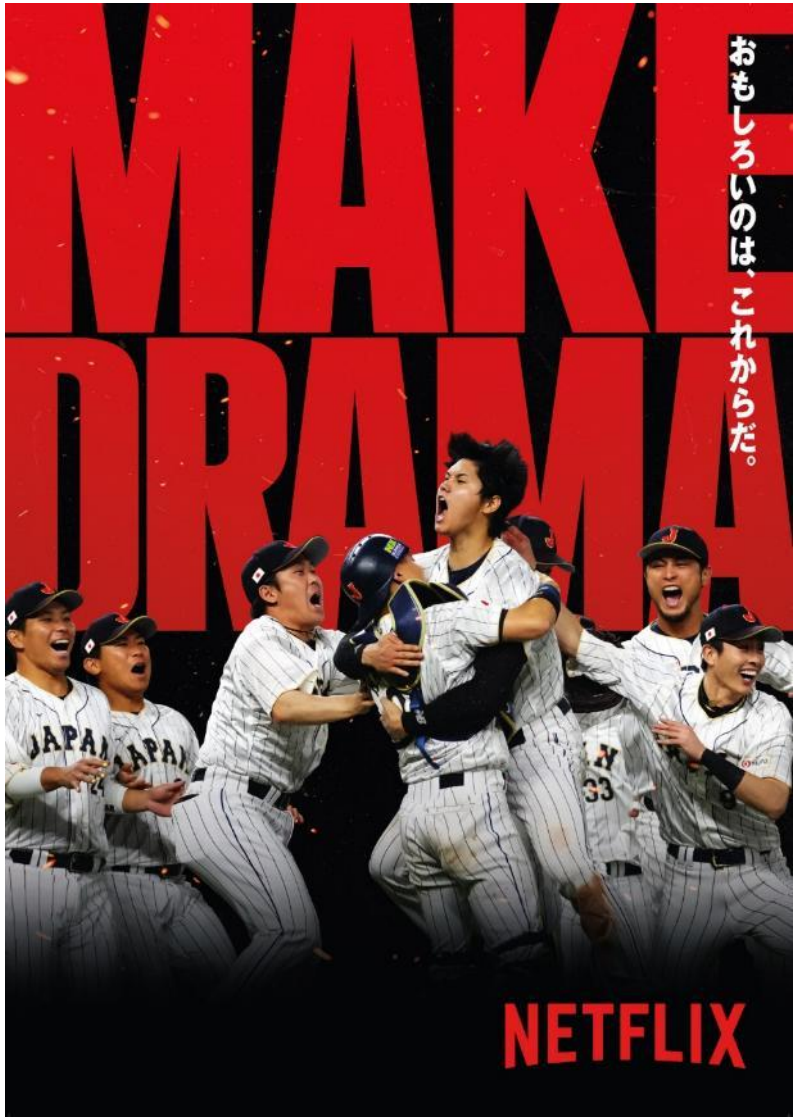
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期
売上高（%）	107.2	102.6	108.9	121.5	113.4	98.5	108.6
客数（%）	103.5	100.2	103.3	119.3	108.5	93.6	104.5
客単価（%）	103.7	102.4	105.5	101.8	104.5	105.2	103.9
店舗数	107	106	107	107	107	107	

※４月以降、2026年4月に閉店した82新宿西口大ガード店を計算から除外しております。

2 2027年２月期 取り組みについて

体験価値創造施策

世界的なスポーツイベント



NETFLIX × HUB

- ✓ NETFLIXとの協力関係により、飲食店では唯一公式のパブリックビューイング環境を実現
- ✓適正な放映、ルール遵守
- ✓東京で開催された一部試合のみ放映

体験価値創造施策

DAZN主催　FIFA ワールドカップ 2026 パブリックビューイング







✓ DAZNとの協力関係により、公式のパブリックビューイング環境を実現

✓MIXIが提供するオンラインサービス「Fansta」にて事前予約受付

✓外国戦も多くのお客様にご来店いただいた

来店促進施策

各種コンテンツ

IPコンテンツ　**【過去最高の売上・客数】**









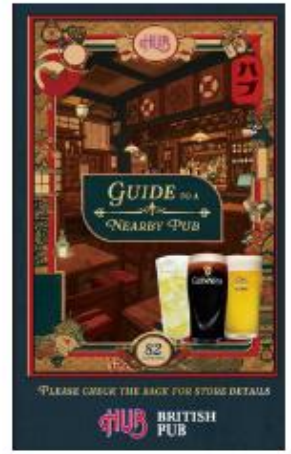
スポーツコンテンツ



インバウンド集客







✓明確な来店動機の創出

✓店舗でのリアルなコラボ空間や限定メニューの提供により、ハブならではの体験価値を高める

✓これまでにない幅広い新規顧客層の獲得に大きく貢献

✓インバウンド顧客限定メンバーズカードで滞在中の再来店・回遊を促進

来店促進施策

メンバーズシステム会員動向

総メンバー会員数

808,138名

（前年差＋18万6千名）

アプリ登録者数

329,915名

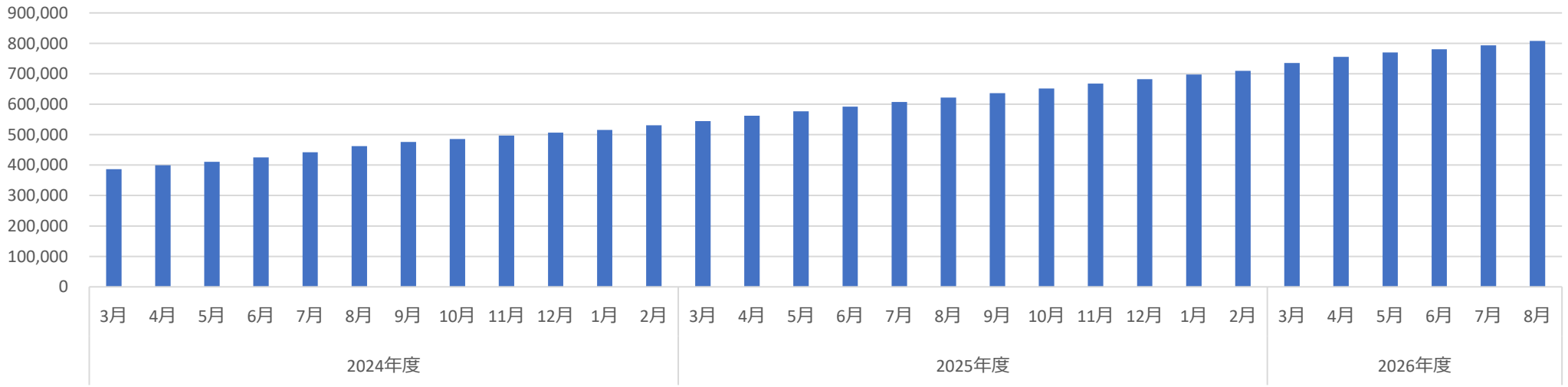
（前年＋7万2千名・登録率40.8%）

メンバー売上構成比

38.6%

※2026年8月末時点

総メンバー会員数推移



メンバーズシステムの会員数は順調に伸長、集客施策の軸として活用

来店促進施策

メンバーアプリ会員獲得およびクーポン配信









✓メーカー様による協賛クーポン

✓出数増加率170%以上

✓メンバー入会促進、アプリ登録のきっかけに

事業提携

競馬場出店、競走馬コラボドリンク







✓東京競馬場、京都競馬場に続き、2027年2月期は阪神競馬場へ出店

✓競走馬コラボドリンクは競馬場だけでなく、限定店舗にて販売

事業提携

メーカータイアップ店舗ラッピング









NIKKA FRONTIERタイアップ
（HUB名駅四丁目店）
（HUB横浜鶴屋町店）
（HUBエキマルシェ大阪ウメスト店）
（HUB東京ドームシティラクーア店）











ギネスタイアップ
（HUB京都ヨドバシ店）

✓メーカー様とのタイアップにより、店舗にブランドラッピングをすることで
雰囲気の醸成及び収益性の向上を実現

メニュー展開

「価値あるメニュー」を「価値ある価格」で魅力発信









✓創業以来「週刊誌価格」に強いこだわり
✓キャンペーンではその時々でしか味わえないメニューを展開

ブランド認知拡大

HUB監修シリーズコンビニ販売

✓店舗以外の経路で認知拡大













モバイルPOSの導入

モバイル型（新規）

POSレジと決済端末が一体となったモバイルPOSを導入



・端末にSIMが入っている為、店舗外出店にも対応可能

・レジと決済が連動した機動性が高い一体型の端末





HUB TOKYO DREAM PARK店

5,000人収容のホールでのライブ時、1500席あるシアターで公演がある日は、
常設店舗だけでなく3か所の売店でも営業





■所在地　東京都江東区有明三丁目3番8号　東京ドリームパーク2F

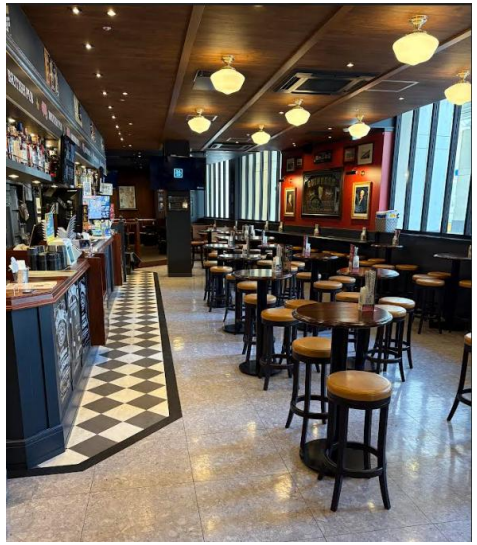
■開店日　2026年3月27日

新規出店：JR商業施設

HUBアスティ静岡店

JR静岡駅直結の商業施設「アスティ静岡」にオープン
Jリーグチーム「清水エスパルス」のサポーターも集まる地域密着店舗







- 所在地　静岡県静岡市葵区黒金町47　アスティ静岡 西館1F
  ※JR商業施設
- 規模　137席
- 開店日　2026年7月16日

HUB道頓堀中座くいだおれビル店

大阪ミナミ・道頓堀の中心部に立地し、多くの飲食店やエンターテインメント施設が入居する、「中座くいだおれビル」への出店







- 所在地　大阪府大阪市中央区道頓堀1-7-21　中座くいだおれビル 2F
- 規模　106席
- 開店日　2026年8月13日

店舗数　中間期末　112店舗

出店数　3店舗

・東京都　HUB TOKYO DREAM PARK店
・静岡県　HUBアスティ静岡店
・大阪府　HUB道頓堀中座くいだおれビル店

北海道 東北	北海道、宮城県	3店舗 ＋ 球場内売店 1
関東	東京都、埼玉県 千葉県、神奈川県	82店舗 ＋ 球場内売店 1
中部	愛知県、新潟県 富山県、静岡県（エリア初進出）	7店舗
近畿	京都府、大阪府 兵庫県	16店舗
九州	福岡県、宮崎県	4店舗

15都道府県

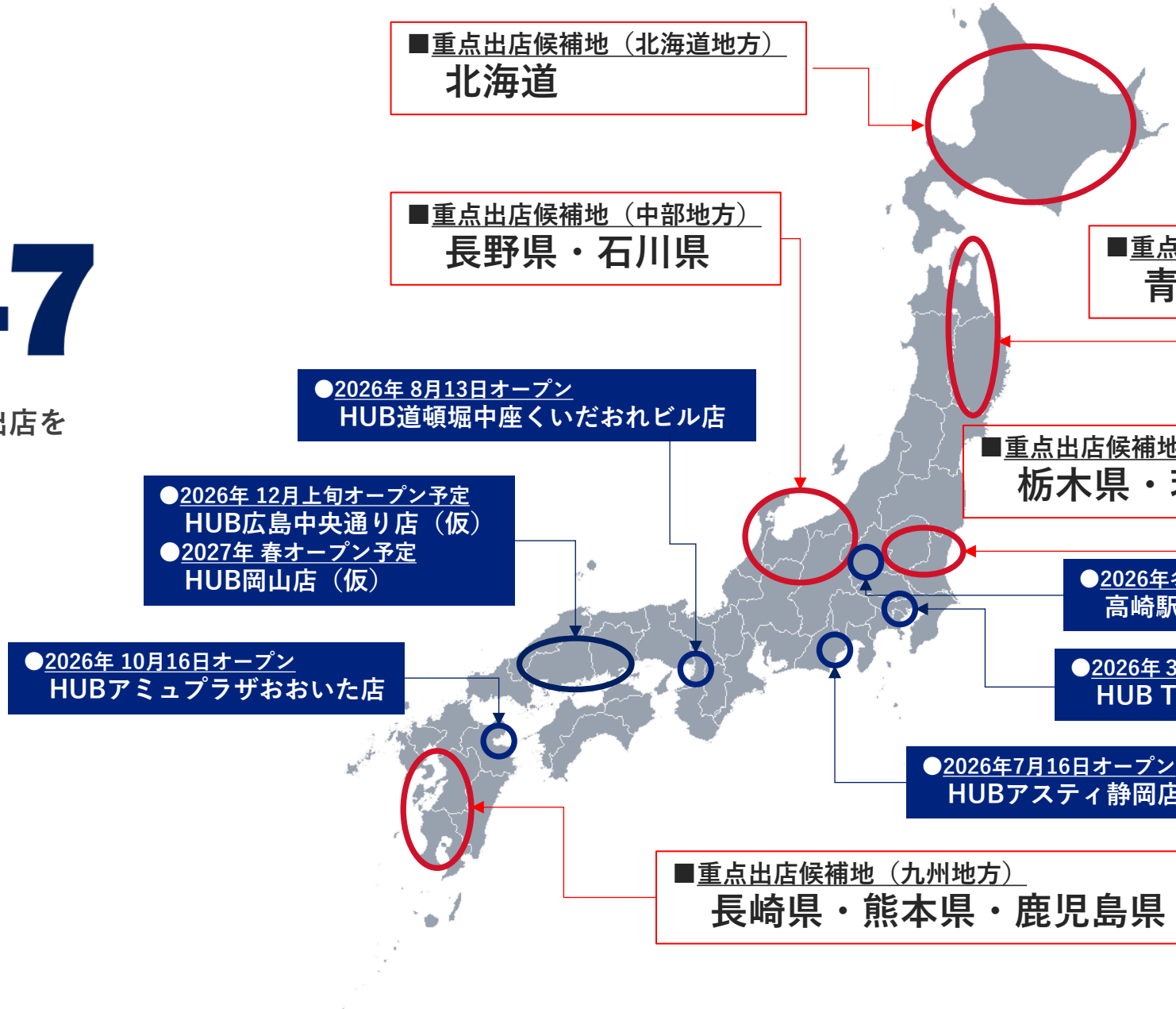


出店戦略

SmasH 47
Station most as HUB

交通・人流の拠点となる施設内への出店を
戦略の要としていく

	出店数	投資額
2025年度	3店舗	1.9億円
2026年度	8店舗	5.9億円



新規出店： JR商業施設

HUBアミュプラザおおいた店

JR大分駅直結の商業施設「アミュプラザおおいた」にオープン
16都道府県目となる大分県へ初出店







- 所在地　　大分県大分市要町1-14　アミュプラザおおいた　いっぷく横丁
- 規模　　71席
- 開店日　　2026年10月16日

HUB広島中央通り店（仮称）

17都道府県目となる広島県へ初出店



※イメージ

- 所在地　広島県広島市中区三川町2-3 PDLビル1F
- 規模　約43坪
- 開店日　2026年12月上旬予定

新規出店

高崎駅周辺

18都道府県目となる群馬県へ初出店

■ 開店日　　2026年冬予定

HUB岡山店（仮称）※28年2月期

JR岡山駅東口至近、再開発事業地区のJR施設「OKAYAMA・GATE PLACE」にオープン
19都道府県目となる岡山県へ初出店

■ 開店日　　2027年3月20日（予定）

地域の魅力発信プロジェクト継続

・第9弾：香川フェア（3月）



・第10弾：奄美フェア（10月）



- ANAあきんど株式会社との共同企画
- 未出店地域への積極出店を目指す「SmasH47」とのシナジーに期待

HTTコラボドリンク



- HTT参画クラブとのコラボキャンペーン
- HTT関連企業との取り組み

人的資本経営：人事戦略・採用実績

長期視点での人事戦略を推進

人事制度改定 基本方針

- ■ 優秀で成果を出せるSM（ストアマネジャー）がモチベーション高く活躍し、最高の報酬を勝ち取れる仕組みを作る
- ■ 多様な人財が自身のライフステージにあった働き方を選択し、イキイキ活躍できる労働環境を創る

創業50年ビジョンが見据える2030年度に向けて
段階的な人事制度改定による処遇改善を計画

STEP１（2022-2024）実施	STEP2（2025-2027）計画
■ 等級・評価制度改定 ■ 賃金改定 ■ 株式報酬制度	■ キャリアパス設計 ■ 人財の多様性推進

全国への展開を支える人財体制の構築を目指す

2026年度採用実績

- ・2026年4月定期入社　16名
- ・通年採用入社　17名

※2026年9月末現在

・2027年4月入社採用計画　25名



人的資本経営：英国研修（勤続3年目と勤続10年以上）

対象：勤続3年目の社員

内容：本場英国PUBを視察することで、「英国PUB文化」とは何かを五感を使って理解を深め、店舗に持ち帰り体現します

対象：勤続10年以上の社員

内容：勤続10年の節目に再び英国の地を踏み、これまでのキャリアで培った知見をもって本場のパブ文化を多角的に再検証します。
切磋琢磨してきた同期との絆を糧に、日本におけるパブ文化のさらなる普及と発展に邁進します



















人的資本経営：処遇改善

■処遇改善

●ベースアップ等による継続的な賃金処遇改善（26年6月～）

25年度比 **約102%**

●家賃半額補助＜上限増額＞

6万円→**7万円**

●社員持株会 奨励金増（26年7月～）

5%→**20%**

●年間休日数増（26年7月～）

104日→**108日**



✓継続的な処遇改善による人財定着及び採用を進めます

4 2027年2月期の見通しについて

2027年2月期 業績予想及び配当予想

（単位：百万円）

業績予想	通期
売上高	12,000
営業利益	600
経常利益	580
当期純利益	330

（単位：円）

配当予想	2027年2月期末
配当	10

株主様還元

配当予想

株主の皆様への還元を重要課題として認識し、収益力の強化によって配当原資と内部留保資金を確保しつつ、配当性向30%を目安とする業績に連動した配当を行う

項目	単位	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	2027年2月期予想
一株当たり配当実績・予想	円	7	0	0	0	6	10	11 （特別配当1）	10

株主様ご優待



保有株式数	優待内容
100株～300株未満	ご優待カード（2,000円分）　1枚
300株～500株未満	ご優待カード（6,000円分）　1枚
500株～1,000株未満	ご優待カード（10,000円分）　1枚
1,000株以上	ご優待カード（20,000円分）　1枚
1,000株以上かつ1年以上保有	ご優待カード（25,000円分）　1枚



経営理念

英国PUB文化を日本において広く普及させるため
英国風PUBを通じてお客様に感動をあたえる
「感動文化創造事業」を展開する

参考資料

■名称：創業50年ビジョン（2022-2030）

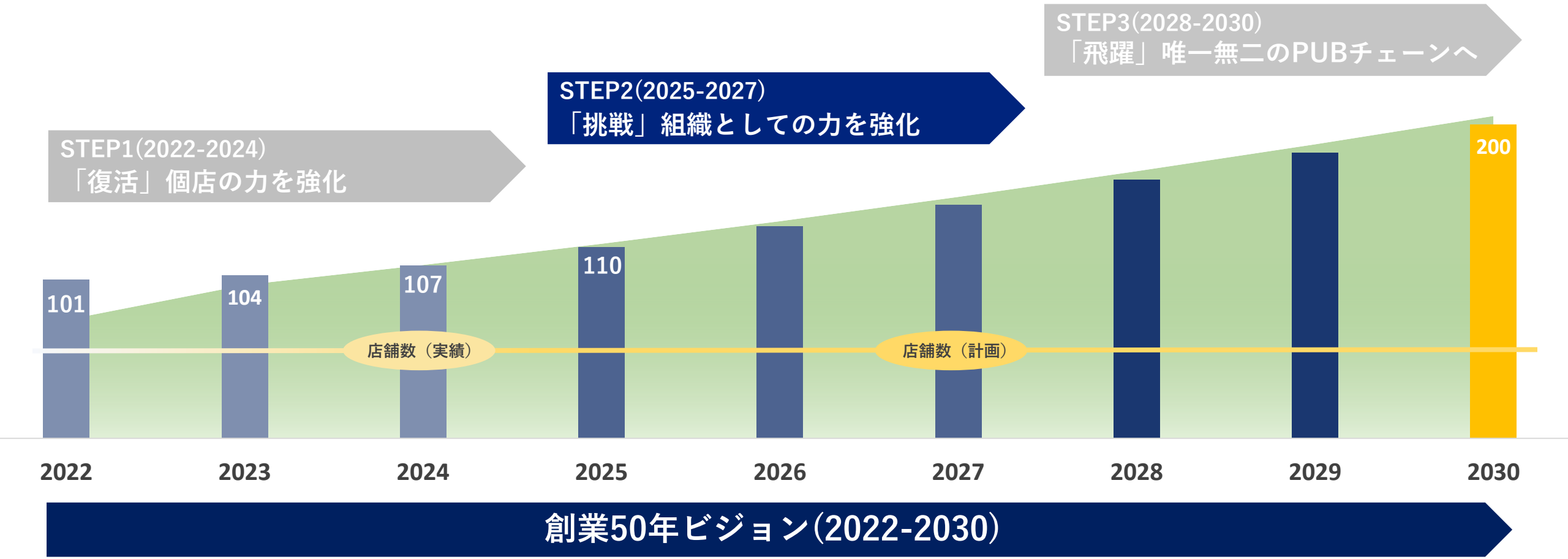
■目標(ありたい姿)
心を豊かにするリアルコミュニケーションの場として
PUBが社会において重要な役割を果たし続けている

- 出店ターゲットを47都道府県に拡大し厳選した200店舗体制を構築する
- 積み重ねてきた価値を磨き続けると共に新たな感動体験を創造する
- 業界の常識を覆す「最高の処遇」と「多様な働き方」を達成する
- 地域に愛される店舗を運営し、持続可能な社会の実現に貢献する
- 企業価値を継続的に高め、魅力的な株主還元を実現する

中期経営計画（2025-2027）の位置づけ

創業50年ビジョン（2022-2030）

心を豊かにするリアルコミュニケーションの場としてPUBが社会において重要な役割を果たし続けている



「挑戦」組織としての力を強化

営業戦略
販売戦略
商品戦略
物流戦略
人財戦略
DX・システム戦略
資本・財務戦略
体験価値戦略

出店戦略

SmasH 47

Station most as HUB

- 出店戦略「SmasH47」を軌道に乗せる事を軸に、今後の全国展開を見据えた体制を構築。
- 「客数増」を挑戦のキーワードとして、ターゲットを絞ったマーケティングを実行し顧客とのエンゲージメントをより強固にしていく。
- 処遇改善により、従業員の満足度を向上させ、優秀な人財の確保と定着を組織の活性化に繋げていく。

企業価値最大化

Value Maximization

～変革を恐れず、最大の価値を追求し、全国へ～

参考資料（会社情報）

会　社　名	株式会社ハブ
設　　立	1998年5月
事業内容	英国風PUB事業等
資　本　金	１億円
本　　社	東京都千代田区外神田3丁目14-10
代　表　者	太田　剛
事 業 Ｈ Ｐ	https://www.pub-hub.com
企 業 Ｈ Ｐ	https://www.pub-hub.co.jp

ブランド一覧

HUB BRITISH PUB

82 ALE HOUSE

HUB + 82 ALE HOUSE

参考資料（株式情報）

証券コード　　：3030

発行済株式総数：12,830,200株

株主総数　　：13,419名

大株主の状況	
株式会社MIXI	20.02%
ロイヤルホールディングス株式会社	14.83%
株式会社久世	8.73%
みのりホールディングス株式会社	6.60%

※2026年８月末時点

参考資料（沿革）

1980年3月	（株）ハブ（旧ハブ：（株）ダイエーの100％子会社）設立。ダイエー創業者 中内氏が渡英の際、英国ＰＵＢ文化に感動し、日本で広めたいとの想いからグループ内で事業化。
1986年11月	旧ハブを解散し、（株）キャプテンクックに事業継承。
1998年5月	（株）ダイエーホールディングコーポレーション（ダイエーグループの持株会社）が全株式を所有する子会社として（株）ハブ（現）を設立。
2006年4月	大阪証券取引所「ヘラクレス」に株式上場。
2010年2月	ロイヤルホールディングス（株）が当社の筆頭株主及びその他の関係会社となる。
2017年2月	東京証券取引所市場第二部へ市場変更。
2017年12月	東京証券取引所市場第一部銘柄指定。
2021年3月	ロイヤルホールディングス㈱が所有する当社一部株式をTech Growth Capital有限責任事業組合に譲渡。
2021年4月	第三者割当によりTech Growth Capital有限責任事業組合が当社の筆頭株主及びその他の関係会社となり、その親会社である㈱MIXIが当社のその他の関係会社となる。
2021年10月	今後の資本政策の柔軟性・機動性の確保と財務内容の健全性の維持を目的として、資本金の額を1億円に減少、資本準備金の額を1億円に減少。
2022年4月	東京証券取引所 プライム市場へ移行。
2023年10月	東京証券取引所 プライム市場からスタンダード市場へ市場変更。
2024年8月	Tech Growth Capital 有限責任事業組合の解散のため、㈱MIXIが筆頭株主及びその他の関係会社となる。

本資料の取扱いについて

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ハブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。

- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社ハブ　経営企画部　IR担当
TEL：03-3526-8682
https://www.pub-hub.co.jp/contact/